

## 令和4年度 第4回 双葉小学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年2月10日（金）15時00分から16時30分まで
2. 開催場所 双葉小学校 会議室
3. 出席委員 二橋 雅夫、黒柳 将人、加藤 泰弘、水野 久美子、大羽 恵子  
蓑 悦子、木村 理、伊東 敏郎、伊藤 篤志
4. 欠席委員 木村 健二
5. 学 校 藤井 隆志（校長）、井口 幸英（教頭）、浅井 功平（教務主任）  
加美 美紀（CSディレクター）
6. 傍聴者 なし
7. 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
8. 議長の選出

加藤委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

9. 協議事項
  - (1) 学校関係者評価について
  - (2) 学校運営協議会の自己評価について
  - (3) 来年度の学校運営の方向性について

### 10. 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価アンケートについて説明があった。児童の評価結果はどの項目も自己評価が高く、頑張っている子が多いことが分かった。今後も児童が安心して過ごせる学校づくりに努め、その取組みを発信していきたいとの報告があった。

#### (2) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、学校運営協議会の自己評価についての説明があった。

- ・ グランドデザインに基づき学校運営の基本方針について具体的な説明があり、前向きに熟議することができた。
- ・ キッズチャレンジビジネスを柱とした「自分から動ける子」を育てる活動を進めていく旨の方針について共通理解を図ることができ、コーディネーターを窓口に、地域や保護者による子供たちへの支援が充実してきた。
- ・ 来年度は、キッズチャレンジビジネスにつながる他学年への支援を含め、地域人材や地域資源を更に有効活用できるよう、コーディネーターを窓口とした支援の充実を図っていくことができればと思う。

### (3) 来年度の学校運営の方向性について

議長の指示により、校長から、来年度の学校運営の方向性について説明があった。

- ・来年度もキーワードとして「ともに」を継続し、学校教育目標を「夢に向かってともに伸びゆく子」に、目指す子供像を「やりたいことを見つけ、挑戦する子」とする。
- ・キッズチャレンジビジネス」のさらなる充実を図ることを念頭に置き、保護者や地域の協力・支援を得ながら「やりたいことを見つけ、挑戦する子」の育成を図っていききたいとの説明があった。

説明ののち、委員からは以下の発言があった。

- ・今年度のキッズチャレンジビジネスについては、しっかりと振り返りや反省をする機会があり、次年度にもつなげていくことができると感じた。今後は地域とのつながりを保ちつつ、PTAから協力いただける人材を育てることが大切だと思う。  
(大羽委員)
- ・キッズチャレンジビジネスは、すぐに振り返りができて良かった。ボランティアとして、学校と関わっていきたく思っているPTAはたくさんいるので、これからそういう方々に声を掛けていきたい。  
(木村委員)  
→学校を知ってもらい、これから求められる教育を知ってもらうためにも、保護者の方には関わっていただきたいと考えている。そのための工夫が大事だと思っている。(校長)
- ・子供たちがやりたいことを自己決定し、それをやりとげた時の自己肯定感や自信といったものを可視化し、発信してもらったことで、学校の様子がよく分かった。  
(水野委員)
- ・キッズチャレンジビジネスの活動について、来年度は販売品の製作途中などの取組の様子についても、もっと地域に発信していったらどうか。  
(伊東委員)  
→ブログをさらに多くの方に見てもらえるように、教師サイドからだけでなく、子供サイドからも情報を発信するなど、広報の仕方を工夫していきたい。  
(校長)
- ・キャリア教育に大切な4つの力（かかわる力、挑戦する力、見つめる力、つなげる力）をまずは、子供にしっかりと伝えることが大切だと思う。  
(黒柳委員)
- ・学校評価アンケートの結果を見ると、「自分から進んで運動に取り組む」「家庭・学校・地域が連携協力している」の項目は、教職員と保護者で評価に開きが見られる。休日に学校を利用できる、地域の方が学校と接するといった機会がさらに増えると良い。  
(伊藤委員)
- ・今後のボランティア活動は、地域の方だけではなく、区外にお住まいの保護者の方にもどんどん加わってもらえると良い。〇〇さんのお父さん、お母さんというように、保護者の顔が分かるので、子供側にとっても接しやすいだろうし、ボランティア側にとっても子供たちに支援しやすいと思う。  
(菘委員)
- ・学校評価アンケートの結果は、昨年度と比較が出来るように結果の変遷が見られるとより分かると思う。昔と違い、教育方針が大きく変わってきており、先生方の負担

も増えていると感じる。地域や保護者に協力を仰ぐ機会を、必要に応じて学校からどんどん発信していけばよいと思う。 (二橋委員)

- ・学校評価アンケートを見て、子供たちがとても頑張っていることが分かる。学校教育は様変わりし、地域や家庭においては、今後学校教育がどこに向かっていくのかわかりにくい。本年度のように、学校から教育方針等を丁寧に説明していただくことで、学校と地域・家庭が同じ方向を向いて子供たちを育てていくことが大切だと思う。 (加藤委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### 11. 報告事項

教頭より、年度初めに説明があった「夢育やらまいか事業」についての報告があった。

#### その他連絡事項等

教頭より、令和5年度の学校運営協議会を年4回開催するとの報告があった。